

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

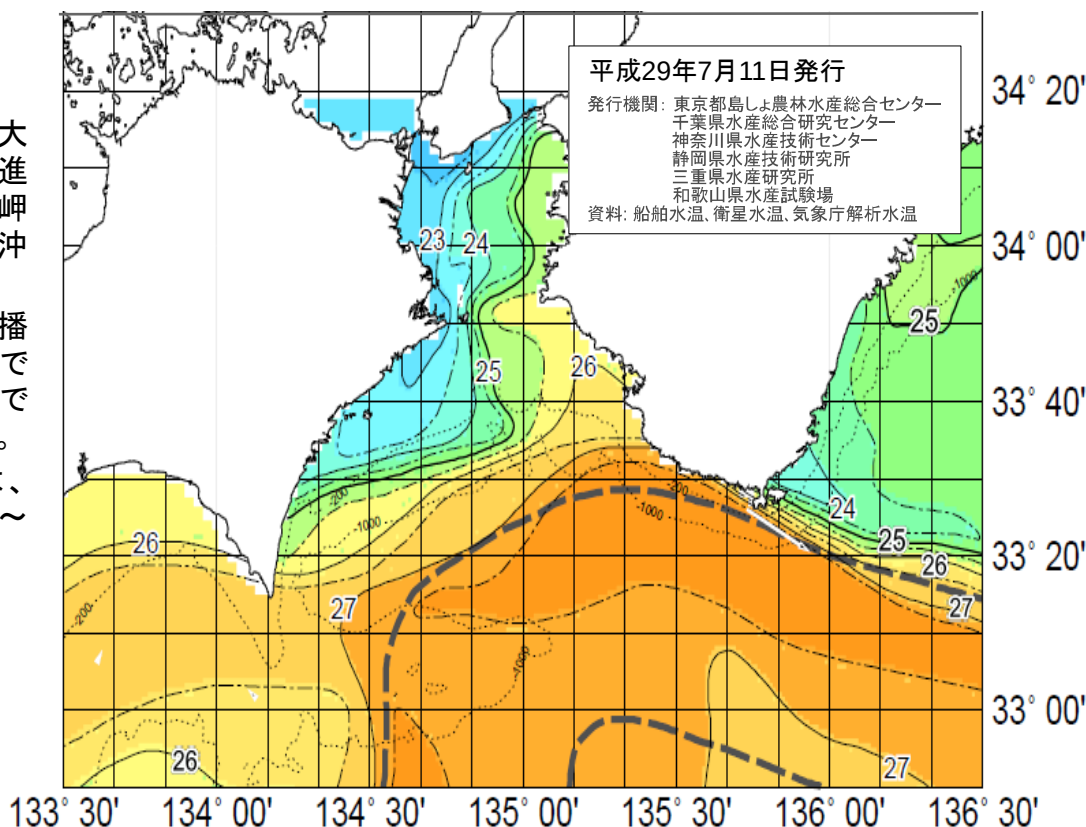
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、九州・四国沖で大きく離岸し紀伊水道沖で北進する形となっており、室戸岬沖では「著しく離岸」、潮岬沖では「接岸」となっている。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で22℃台、紀伊水道で22℃～23℃台、海部沿岸で22℃～23℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、平年並みかやや高い26℃～27℃台となっている。

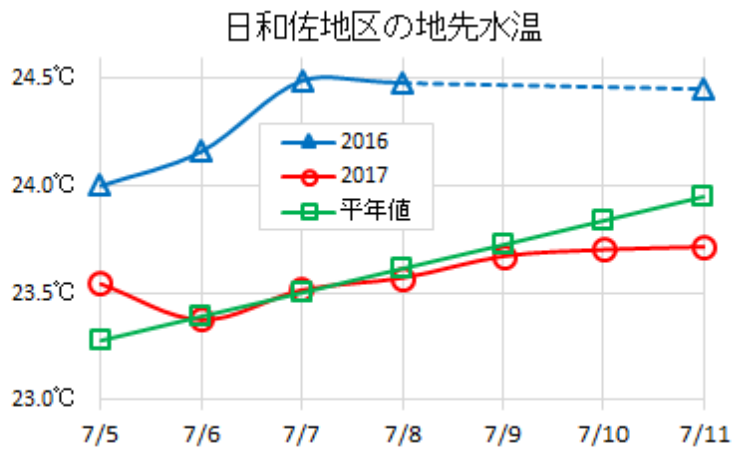
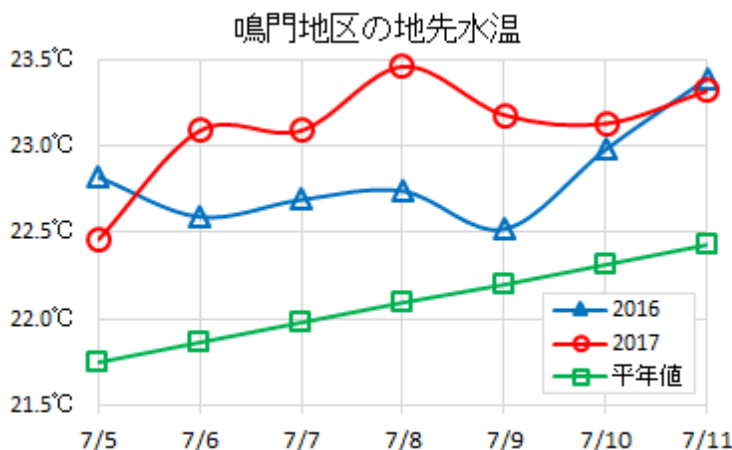


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(7月5日～7月11日)

鳴門地区の地先水温は、「やや高め」の22.5℃～23.5℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、「平年並み」の23.4℃～23.7℃で、ほぼ横ばいで推移した。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上
※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(7月12日～7月18日)

黒潮は、室戸岬沖では「著しく離岸」、潮岬沖では「接岸」の状態が続く見込み。

地先水温は、鳴門では、「やや高め」の23℃台、日和佐地区では「平年並み」か「やや低め」の23℃～24℃台で推移する見込み。

漁況 2017年7月3日～7月9日（旧暦閏5月10日～閏5月16日）

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網では、シラスが前週並みの270ト水揚げされた。

釣りでは、タチウオが特大主体に増えて0.8ト水揚げされた。

延縄の漁獲量は前週並みで、ハモが7.7ト、タチウオが特大主体に1.5ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが大きく減って小小主体に0.6ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて7.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

延縄では、アカムツが減って0.9ト水揚げされた。

小型定置網は台風通過の影響等で漁獲量は大きく減った。

大型定置網では、マアジが大きく減って小小主体に6.9ト、いわし類がウルメ主体に4.8ト、ブリが増えてつばすサイズ主体に2.2ト水揚げされた。表にはないが、いわし類やあじ類、ネンブツダイなどを主体とする未選別の小魚が2.4ト水揚げされている。なお、大型定置網の操業は10日で終了した。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	108	シラス	270,000	2,500		→
	釣り	38	タチウオ	829	22	特大主体	↗
	延縄	81	ハモ	7,669	95		→
			タチウオ	1,510	19	特大主体	→
			ゴマサバ	513	17	大主体	→
	小型定置網	26	マアジ	621	24	小小主体	↘↘
	底びき網	53	ハモ	7,182	136		↗
			えそ類	654	18		↗
			いとより類	439	11		↗↗
	海部沿岸	延縄	52	アカムツ	889	17	
小型定置網		8	ウルメイワシ	509	64		↘↘
			マアジ	325	19	小小主体	↘↘
			かます類	209	14	小小主体	↘↘
大型定置網		5	マアジ	6,922	1,384	小小主体	↘↘
			いわし類	4,849	970		→
			ブリ	2,222	444	つばす主体	↗
			イサキ	339	68		↗↗
			かます類	278	56	小小主体	↗
			マルアジ	245	49		↘
	ゴマサバ		225	45		↗↗	
アイゴ	219	55	大主体	↗↗			
スルメイカ	209	42	小小主体	↘			

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘